

31:1 「その時、主の御告げ。わたしはイスラエルのすべての部族の神となり、彼らはわたしの民となる。」

31:2 主はこう仰せられる。「剣を免れて生き残った民は荒野で恵みを得た。イスラエルよ、出て行って休みを得よ。」

31:3 主は遠くから、私に現われた。「永遠の愛をもって、わたしはあなたを愛した。それゆえ、わたしはあなたに、誠実を尽くし続けた。」

31:4 おとめイスラエルよ。わたしは再びあなたを建て直し、あなたは建て直される。再びあなたはタンバリンで身を飾り、喜び笑う者たちの踊りの輪に出て行こう。

31:5 再びあなたはサマリヤの山々にぶどう畑を作り、植える者たちは植えて、その実を食べることができる。

31:6 エフライムの山では見張る者たちが、『さあ、シオンに上って、私たちの神、主のもとに行こう。』と呼ばわる日が来るからだ。」

31:7 まことに主はこう仰せられる。「ヤコブのために喜び歌え。国々のかしらのために叫べ。告げ知らせ、賛美して、言え。『主よ。あなたの民を救ってください。イスラエルの残りの者を。』」

31:8 見よ。わたしは彼らを北の国から連れ出し、地の果てから彼らを集める。その中にはめいしいも足なえも、妊婦も産婦も共にいる。彼らは大集団をなして、ここに帰る。

31:9 彼らは泣きながらやって来る。わたしは彼らを、慰めながら連れ戻す。わたしは彼らを、水の流れのほとりに導き、彼らは平らな

道を歩いて、つまづかない。わたしはイスラエルの父となろう。エフライムはわたしの長子だから。」

イスラエル回復の預言です。「荒野で恵みを得た」とは、出エジプトのときの恵みです。過去の主のみわざを思い出して、私たちが心に平安をいただきましょう。そのときの恵みは今も変わりません。なぜなら、主は「永遠の愛をもって」愛し続けてくださるからです。

「タンバリンで身を飾り」「ぶどう畑を」というように、主の回復のビジョンは明確なものです。それゆえ私たちに与えられている回復の約束も明確です。そのような主の恵みを視覚的にもイメージしながら、その日を望みつつ一歩でも前へ進みましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

